

コンサルティング事業

IT導入支援

IT導入の取組は、以下の①～④に大別されます。

- ①IT導入計画の策定
- ②調達仕様・発注仕様確定
- ③評価・選定
- ④IT導入

左記④の後工程として、
「⑤効果測定（IT導入評価）」があります。



発注側・受注側の関係性構築を重視します。

IT導入計画の策定

原則として、経営戦略をベースとしたIT戦略を検討します。

次に、具体的な情報システムやソフトウェアの調達について、目的・ねらい、導入効果、対象業務・部署範囲、導入プロジェクトの体制、スケジュール、コスト等について、IT導入計画としてまとめます。

※業務分析について
IT導入計画策定において、現状調査・分析のとりまとめを行う場合があります。また、新たなIT導入後の業務処理のあり方のとりまとめを行う場合があります。

調達仕様・発注仕様確定

どのような条件で、どのようなシステム（ソフトウェア）を、いつまでに必要とするのか、それらを業者側に伝達し、業者側が正しく作業期間や費用を見積もるための資料として、調達仕様書（発注仕様書）をまとめます。

特に、数か月～数年を要するような情報システムの設計と開発を行う調達では、この段階の仕様とりまとめの良し悪しが、できあがるシステムの品質にも大きく影響します。

こうした資料をとりまとめたのち、数社以上の業者に対して、提案や費用見積の機会を与えます。

評価・選定

どのような視点から、どのような基準で、IT業者からの提案や採用すべきソフトウェアを評価すべきかコンサルティングします。

金額（見積額）のみにとらわれて単に安価な業者や製品を導入することのないよう、業者の“能力”も加味した総合的な観点から評価・選定を行うようにします。

【推奨例】
総合評価方式による評価・選定をお勧めします。この場合、総合評価表、評価基準表、評価要領等を整備しつつ、評価者の選定を行います。

IT導入

IT導入に係るプロジェクトマネジメントの支援を行います。

発注者（お客さま）の立場に立ってIT業者に対する各種マネジメントを支援します。

a.進捗管理
進捗の確認と遅延がある場合の対応策についてアドバイス。

b.課題管理
予定とは異なる事象が発生した場合における対応策の実行管理を支援。

c.工程進行管理
プロジェクト期間のマイルストーンにおいて、次のステップに進んでよいかの判断についてアドバイス。